

医療法人社団博友会 広報誌

Hakuyukai - Dayori

博友会だより

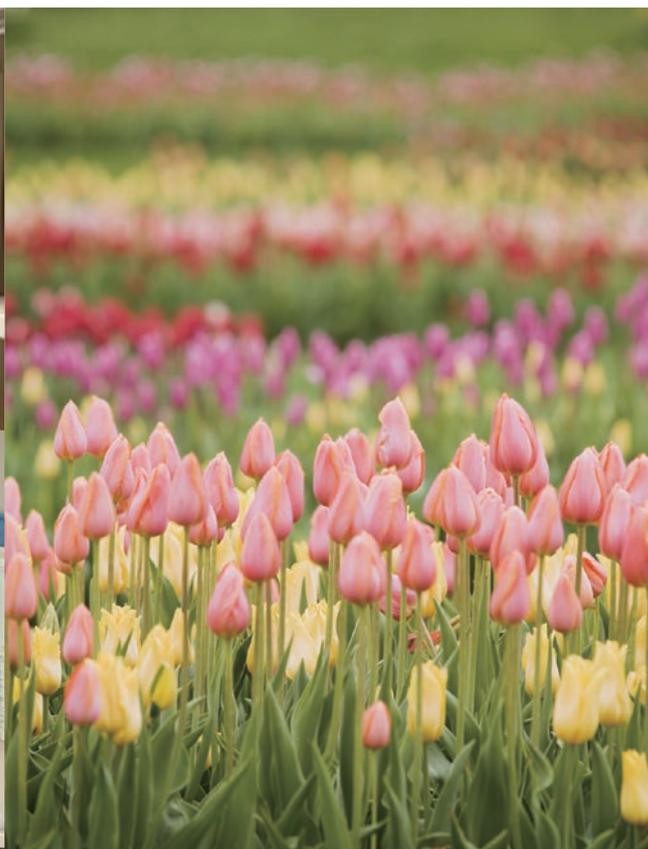
医療・看護・介護を通して地域に貢献いたします

抑うつ状態や心身症・不定愁訴に
精神科の症状に
漢方薬が効果的なことがあります

医療法人社団博友会 平岸病院 精神科 岡田 昌平 医師

春 [No.13]
2012年4月

ご自由に
お持ち帰りください



医療法人社団博友会は4つの施設で社会貢献しています



平岸病院

精神科・神経科・内科・神経内科・歯科・訪問看護
赤平市平岸新光町2丁目1番地
TEL: 0125-38-8331



北の峰病院

精神科・神経科
富良野市中御料2062番地
TEL: 0167-22-2011



介護老人保健施設博寿苑

入所・短期入所・通所リハビリテーション
赤平市平岸新光町2丁目4番地
TEL: 0125-37-2001



共同生活援助事業所グループホーム博友荘

入居による生活援助
赤平市平岸新光町4丁目34番地
TEL: 0125-37-2077

抑うつ状態や心身症・不定愁訴に

精神科の症状に漢方薬が効果的なことがあります

いきいき
健康生活



医療法人社団博友会
平岸病院 精神科
岡田 昌平 医師

昭和20年 小樽市生まれ
昭和46年 北海道大学医学部卒業
昭和48年 旭川精神病院
札幌医科大学研修生
昭和57年 伊達赤十字病院精神科
昭和58年 医療法人優仁会 滝川中央病院
平成17年 医療法人優仁会 滝川中央病院退職
平成17年 医療法人社団博友会 平岸病院
■資格
精神保健指定医、日本東洋医学会漢方専門医、
日本精神神経学会専門医・指導医、
日医認定産業医、介護支援専門員

私自身のアレルギー性鼻炎とめまいを改善させたのが漢方薬です。漢方薬について本格的に学び、1990年に日本東洋医学会の漢方専門医となりました。不定愁訴や心身症、軽症抑うつなどが出現する患者さんや向精神薬のみでの対応では効果の出ないケースに漢方薬を処方し、良好な治療結果を得ています。

その時のその症状に合わせて処方

動悸や頭痛、不眠などの症状で受診した患者さんに向精神薬を処方したところ、眠気やだるさといった副作用が出現したため、漢方薬を処方しました。副作用が治まっただけでなく、精神科の症状が改善しました。

漢方治療には「心身一如（しんしんいちによ）」の考え方があり、心と体の両面を捉えて、バランスを整えることを重視しています。処方にあたって「脈診」「腹診」「舌

診」を行い、患者さんから聞きだした自覚症状から、その時のその人の病態を判断し、それに即して漢方薬を選びます。

西洋薬が服用できない患者さんにも

急性の炎症や感染症に優れている西洋医学と比べ、漢方は穏やかに効くものが多く、慢性的、体質的な疾患に対して優れています。肝臓などの疾患で西洋薬が飲めない患者さんに処方し、良い治療結果を得ました。

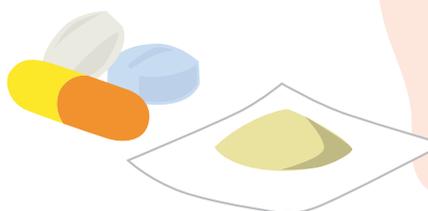
全ての人が漢方薬で改善が得られるわけではありませんが、漢方薬が向いている人がいます。

向精神薬の副作用が患者さんを苦しめていることがあります。が、副作用を我慢しながら服用を続けたり、自己中断するのではなく、一度漢方薬を試してみましょ

西洋薬と漢方薬

化学合成された薬のことを「西洋薬」と呼び、自然界の植物や鉱物、動物のなかで、薬効の高い「生薬」を組み合わせたものを「漢方薬」と呼んでいます。

中国から伝来した漢方治療は、江戸時代に日本で伝統医学として定着しました。日本で処方されている漢方薬は、日本人の体質や病気に合うように調合されたものです。



【例えば、こんな漢方薬があります】

●加味逍遙散…不定愁訴、ストレス、不眠、神経症など

●半夏厚朴湯…咽喉頭異常感のある抑うつ状態、不安感

北の峰病院

チーム医療と地域の連携で取り組む 長期入院患者の退院支援①

北の峰病院では退院可能な長期入院患者さんに対して、社会復帰を目標にした「退院支援」に取り組んでいます。「診断」「治療」だけでなく、退院後に予想される患者さんの不安や困りごとの解決を支援するために、多職種の病院スタッフがチームを組み、地域の関係機関と連携しながら成果を上げていきます。

患者さんの可能性を信じ力を引き出す

退院支援では、入院によって低下した生活能力を徐々に改善させるために、入院中から、炊事・洗濯、お金の管理などの日常生活に関することや、公共交通機関・銀行の利用や買い物など社会生活に関する活動を、少しずつ

体験し、慣れることで、患者さんの自信につなげていきます。

北の峰病院では、医師、看護師、精神保健福祉士、作業療法士、薬剤師など多職種が役割分担しながら、患者さんの退院を支援します。医療者は、患者さんの可能性を信じ、患者さんの良い部分を引き出しながら関わります。富良野市や関係機関と連携し、退院後のフォローシステムを充実させています。



北の峰病院 医療相談室
精神保健福祉士 久田 茂

当院は、「精神障害への医療は当院が責任を持ち、退院後の支援は福祉分野の団体が担うシステムづくり」を進めてきました。

昭和57年から富良野保健所と共同で「精神障害者関係機関情報交換会」を開催するなど、行政や地域と連携しながら、「地域精神医療」を継続。誰もが希望を持って生きることが出来る地域社会づくりを支えています。

多職種で取り組む 北の峰病院の退院支援

看護師



第2病棟 武山良幸看護師長
病棟の担当看護師が、退院後の生活をイメージしながら根気良くアドバイスやサポートを続け、患者さんの不安を解消します。



第3病棟 小柳あけみ看護師
薬の自己管理も退院に欠かせない要素です。飲み忘れがないよう服薬指導もしっかり行います。



患者さん

作業療法士

林卓生作業療法士

作業療法では、退院後のライフスタイルをイメージしながら目的を定め、細かく段階的にプログラムを組みます。段階ごとの小さな成功を体験することが、社会自立への自信につながります。



医師



精神科医師 久保昌己院長

退院支援をスタートさせた患者さんが社会復帰するまでの期間は、1年前半から2年ほど。患者さんの病状や変化を見逃さずに、適切に診断し、治療プランを立てます。一連の流れの中で「タイミングを逃さない」ように判断するのが担当医の役目です。関わるスタッフに治療の方向性を示しています。

精神保健福祉士

精神保健福祉士は患者さんや家族と深く関わり、病状や退院後の生活環境を理解し、「夢や希望を持って地域社会で暮らす方法」を地域関係機関と連携しながら検討・提案・支援します。

次号では、退院支援をフォローする外部サポート体制について紹介します

平岸クリニックが 閉院しました

平成24年3月末をもって平岸クリニックが閉院しました。今後は、平岸病院外来での受診をお願いいたします。

平岸クリニックの建物は、今後、精神科デイケアや精神科作業療法など、精神科専門療法施設として活用してまいります。



看板の撤去作業



滝川メンタルクリニック 開院に向けて準備中です

医療法人社団博友会では、滝川メンタルクリニック（仮称）の平成24年度中の開院を目指して、建設を進めています。

精神科の在宅医療を担う機関として、地域貢献に尽くす予定ですので、よろしくお願いいたします。



滝川メンタルクリニック
完成イメージ図



受付イメージ

地域ネット

美瑛の美しい自然を
写真で世界に伝えたい

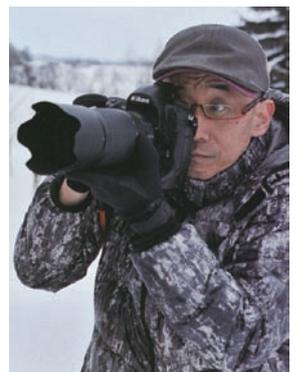
美瑛在住の写真家
白石健人さん

ナショナル・ ジオグラフィック・ 写真コンテストで入賞

全世界で発行されている自然科学雑誌「ナショナル・ジオグラフィック」のインターネット版写真コンテスト2011で、美瑛在住の写真家・白



ナショナル・ジオグラフィック Nature
自然・動物部門 奨励賞
「青池と初雪」(白石健人)



石健一さんが自然部門で奨励賞を受賞しました。インターネットを通じて130カ国以上から2万点以上の応募があった中、日本からの入賞は唯一という快挙です。

「撮影場所は、美瑛にある青池です。10月の終わりごろに降った初雪が青池に舞い落ちる瞬間が印象的な1枚になりました。神秘的な青と白い雪の美しさは、全て自然が作り出す色合い。美瑛の美しい自然に世界各地の人々が関心を寄せてくれることが嬉しいですね。これからは、世界に向けて発信する作品も積極的に発表したい」と意欲を語ります。

※白石健人さんの本名は谷博路さん。当法人博友会の谷博理事長の長男で、美瑛町にある「オーベルジュてふてふ」のオーナーでもあります。温泉と美味しいお料理が人気の料理宿です。